

報道関係者各位

2021年7月20日(火)

展示作品の一部が、ポンピドゥ・センターへ収蔵決定！
3DVRによる展覧会バーチャルツアーなどオンラインコンテンツも充実。

ポコラート世界展 「偶然と、必然と、」

— 障害のある人、ない人、アーティストの生の表現を世界に解き放つ —

展示作品に関する最新情報ならびに関連企画決定のご案内

偶然と、
必然と、
Chance and Necessity and...
Liberting raw expression of artists and people with/without disabilities



与那覇 俊《巨人病院Ⅲ（恒河沙新世界）》2018年 油性ペン、カレンダー、とりのこ用紙 144×840cm photo: MIYAJIMA Kei

この度、千代田区とアーツ千代田 3331は、ポコラート世界展「偶然と、必然と、」—障害のある人、ない人、アーティストの生の表現を世界に解き放つ—を、2021年7月16日(金)～9月5日(日)の会期にて開催いたします。ポコラート事業10周年を記念する本展では、日本初公開となる作家や作品を含む世界22カ国の作家50名による創作物240点余を一堂に展示します。

この度、次の通り展示作品に関する最新情報ならびに関連イベントやオンラインコンテンツ、図録・ガイドブックの詳細が決定いたしましたのでご案内申し上げます。何卒周知にご協力いただけますようお願い申し上げます。

*本展の開催概要、展示内容、出展作家などにつきましては、既報のプレスリリース第1弾（2021/4/14配信）をご覧ください。
第1弾プレスリリース https://www.3331.jp/news/file/pocorartworld_PR_20210414.pdf

- 展示作品の一部が、ポンピドゥ・センター(フランス/パリ)に収蔵されることが決定！
- 上映会+トーク、キュレーターツアー、関連企画など計7本のイベントを開催。
- 3DVRによるオンライン鑑賞やトーク動画をお届け！
- 200点を超える創作物をフルカラーで掲載した圧巻の展覧会図録！
- お子様にも大人にも内容をわかりやすく解説した無料ガイドブックも配布予定！(PDFダウンロードも可)

報道関係者問い合わせ先

ポコラート世界展PR事務局（株式会社スキュー内）
担当：大迫、中田
〒107-0062
東京都港区南青山6丁目12-10 ユニティ501号室
Tel：03-6450-5457 Fax：03-5539-4255
Mail：3331@skewinc.co.jp

展覧会名

ポコラート世界展 「偶然と、必然と、」
— 障害のある人、ない人、アーティストの生の表現を世界に解き放つ —

主催 千代田区、アーツ千代田 3331

会場 アーツ千代田 3331 1階 メインギャラリー

会期 2021年7月16日(金)～9月5日(日)

特設サイト <https://pocorart.3331.jp/world2021/>

最新情報

展示作品の一部が、ポンピドゥ・センター（フランス／パリ） に収蔵されることが決定！

本展には、パリとプラハを拠点とするアール・ブリュットの非営利研究機関「abcdコレクション」より複数の作品が出展します。同コレクションの一部がポンピドゥ・センターに収蔵されることが決定したことに伴い、本展の展示作品の一部は展示終了後、同センターに収蔵されます。これらの作品を国内で再び見ることは稀有になることが予想され、ポコラート世界展での展示は極めて貴重な機会となります。

イベント
情報

1 2 オンライントーク 予約不要

オンライントーク動画公開

各トークの視聴URLはポコラート世界展特設サイト
ならびにアーツ千代田 3331の各種SNSにて後日ご
案内いたします。（無料視聴）

公開開始日 7月17日（土）

作家の創作に寄り添うことと
創作活動の伝え方について
（ベルギーと日本の事例）

登壇者

金武 啓子
（社会福祉法人ノーマライゼーション協会 西淡路希望の家・美術部）
アンヌフランソワーズ・ルーシュ
（ラ・エス・グラン・アトリエ代表）
ファシリテーター
嘉納 礼奈（本展キュレーター）

公開開始日 7月30日（金）

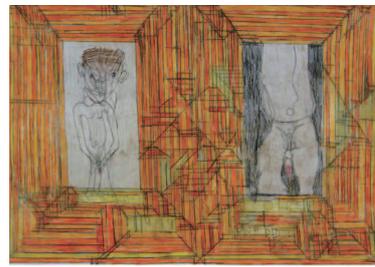
一人の作家に時を経て寄り添う。
作家とその創作の変遷についての証言
（オーストリアと日本の事例）

登壇者

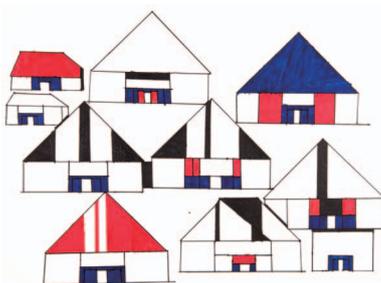
朝比奈 益代
（特別非営利活動法人La Manoクラフト工房La Mano）
エリザベート・テルスニツヒ
（美術史家）
ファシリテーター
嘉納 礼奈（本展キュレーター）



黒田 勝利《人類崩壊》2011-2015年
ルーズリーフ、黒ペン、カラーペン 29.7×21cm
photo: MIYAJIMA Kei



ヨーゼフ・ホーファー《無題》2012年
鉛筆、色鉛筆、紙 44×60cm



コスティヤ・ボトキン《無題》2019年
ミクストメディア、紙 55×73cm
Kostia BOTKINE, ©La"S"Grand Atelier,B



平野 智之《New美保さんシリーズI》2012年
鉛筆、色鉛筆、紙 30.5×24×2.5cm
photo: MIYAJIMA Kei

「ミリキタニの猫《特別篇》」

3 上映会 + トーク 要予約

日時 ① 8月14日(土) ② 8月15日(日)
14:00-16:00 14:00-16:00

上映「ミリキタニの猫」(74分/リンダ・ハッテンドーフ監督/2006)

上映「ミリキタニの記憶」(21分/Masa監督/2016)

アフタートーク(ゲスト:マサ・ヨシカワ氏/映画プロデューサー)(約20分)

会場 アーツ千代田 3331 1階コミュニティスペース

定員 60名 料金 500円 ※お申込み方法は、本リリース6ページに記載
※千代田区民は身分証のご提示で無料

1920年にアメリカで生まれ、広島に育ったジミー・ツトム・ミリキタニ氏。画家を目指し再び渡米するも、戦争により日系人強制収容所に入れられ、1980年代後半頃からはニューヨークで路上生活をしながら創作活動を行うように。時代に翻弄され波乱に満ちた人生を送る彼の作品に描かれるのは猫、ねこ、ネコ…。

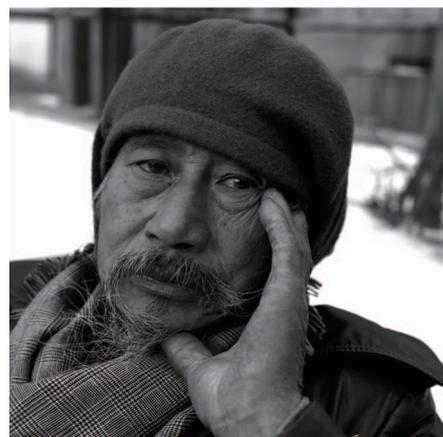
本イベントでは、ミリキタニ氏の半生と映画監督であるリンダ・ハッテンドーフ氏の交流を描いたドキュメンタリー「ミリキタニの猫」(2006)と、ミリキタニ氏を知る人々の証言や当時の写真、そして新たに発見された絵などでつづられた「ミリキタニの記憶」(2016)を併せた2本組「ミリキタニの猫《特別篇》」を特別上映します。上映後は、「ミリキタニの記憶」監督のマサ・ヨシカワ氏をお迎えしたアフタートークも行います。



マサ・ヨシカワ

プロデューサー

プロデューサー、ライター、コーディネーター、ジャーナリストなど映像関連の仕事に幅広く携わる。「ロスト・イン・トランスレーション」(2003/ソフィア・ Coppola監督)などの映画でも製作スタッフを務めた。2016年に『ミリキタニの猫』の追悼編とも言うべき短編『ミリキタニの記憶』を製作・監督。



佐藤哲郎撮影 | 1990年代のジミー・ミリキタニ



ジミー・ツトム・ミリキタニ
《無題》2001-2006年
ボールペン、水彩鉛筆、水彩絵の具、紙
43.5×55.5 cm
photo: MIYAJIMA Kei

4 上映会 + トーク 要予約

「描きたい、が止まらない」

日時 ① 8月21日(土) ② 8月22日(日)
14:00-16:00 14:00-16:00

上映「描きたい、が止まらない」
(90分/近藤剛監督/2019/配給:パオネットワーク)

アフタートーク
古久保 憲満(作家) × 近藤 剛(映画監督)(約20分)

会場 アーツ千代田 3331 1階コミュニティスペース

定員 60名 料金 500円 ※お申込み方法は、本リリース6ページに記載
※千代田区民は身分証のご提示で無料



ボールペンと色鉛筆だけで描く精密画の大作を制作する自閉症の画家・古久保憲満氏に、2年半にわたって密着したドキュメンタリー「描きたい、が止まらない」を上映します。上映後は、古久保氏と本作の監督である近藤剛氏をお迎えしたアフタートークも行います。

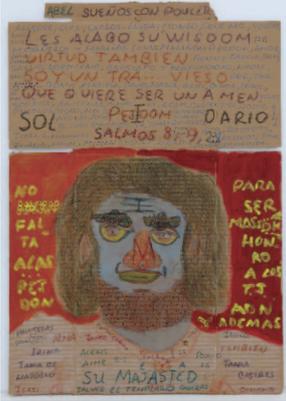
近藤 剛 映画監督

1973年生まれ、愛知出身。映像技術会社を経て、現在、番組制作会社パオネットワーク所属。ディレクターとして主にテレビのドキュメンタリー番組を制作。テーマは東日本大震災、薬物依存症、コロナ禍の病院や小学校など、多岐にわたる。2019年に全国で劇場公開した映画「描きたい、が止まらない」の監督を務める。



5 オンライン上映会 + トーク 予約不要

映画監督であり、アール・ブリュットコレクターでもある、ブリュノ・デュシャルム氏が監督・制作したドキュメンタリー映像を上映します。1日目は、キューバ出身の作家カルロス・ハビエル・ガルシア・ウエルゴ氏、2日目はアメリカ出身の作家メルヴィン・ウェイ氏に焦点をあてたドキュメンタリーです。上映後は、デュシャルム氏に作家や作品についてオンラインでお話をうかがいます。



カルロス・ハビエル・ガルシア・ウエルゴ
《無題》1990年
フェルトペン、アクリル絵の具、段ボール
72.4×50cm photo: MIYAJIMA Kei



配信日時・上映作品

8月7日(土) 17:00-18:00

上映「カルロス・ハビエル・ガルシア・ウエルゴ」(約20分)
トーク(約40分)

8月8日(日) 17:00-18:00

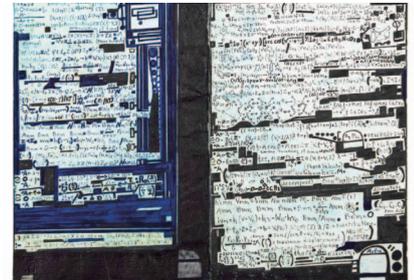
上映「メルヴィン・ウェイ」(約20分)
トーク(約40分)

視聴方法

YouTubeライブ配信(無料)で実施いたします。
視聴URLはポコラート世界展特設サイトならびに
アーツ千代田 3331の各種SNSにて後日ご案内いたします。

トーク登壇者

ブリュノ・デュシャルム(映画監督/アール・ブリュットコレクター)
嘉納礼奈(本展キュレーター)



メルヴィン・ウェイ《無題》2000年
インク、セロハンテープ、紙 22.6×30.4cm
©collection abcd/Bruno Ducharme

6 キュレーターツアー 予約不要

本展キュレーターが展覧会をご案内する45分程の鑑賞プログラムです。

日時 会期中 | 不定期 会場 1階メインギャラリー

料金 無料(但し、ご参加には展覧会チケットが必要です)

定員 5~10名(先着順/展覧会入場チケットカウンターに直接お越しください)

詳細は、ポコラート世界展特設サイトならびに
アーツ千代田 3331の各種SNSにて後日ご案内いたします。

嘉納礼奈 本展キュレーター

芸術人類学研究、EHESS(フランス国立社会科学高等研究院)、フランス社会人類学研究所在籍。兵庫県生まれ。パリ第4大学美術史学部修士課程修了。国立ルーブル学院博物館学課程修了。国内外でアートとその周縁、人間の創作物のカテゴライズなど芸術人類学の研究、展示企画、シンポジウムなどに携わる。アーツ千代田 3331では、ポコラート全国公募のコーディネーターを務めた。

7 連携企画 by ゲーテ・インスティトゥート東京 予約不要

Superposition (ユリウス・ポッケルト & スヴェン・フリッツ) 音楽パフォーマンスのライブ配信

アトリエ・ゴールドシュタイン(フランクフルト)で行われるSuperposition(ユリウス・ポッケルト & スヴェン・フリッツ)の音楽パフォーマンスをゲーテ・インスティトゥート東京より配信します。演奏を行う美術家のユリウス・ポッケルトと音楽家のスヴェン・フリッツは2014年から共に活動しています。彼らは、キーボード、モジュラー・シンセサイザー、打楽器フィールド・レコーディングや声などを生かした実験的な音楽パフォーマンスを行います。

日時

7月18日(日) 18:00~

視聴方法

アーツ千代田 3331とゲーテインスティトゥート東京のFacebookよりライブ配信(無料)で実施いたします。
視聴URLはポコラート世界展特設サイトならびにアーツ千代田 3331の各種SNSでも後日ご案内いたします。

協力: ゲーテ・インスティトゥート東京

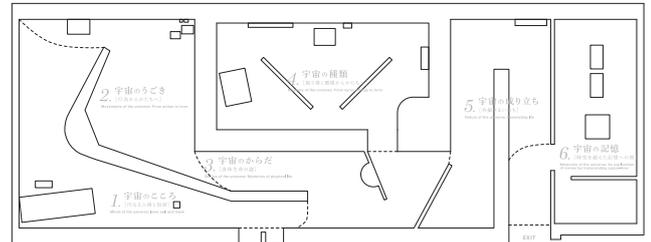
オンラインコンテンツ

新型コロナウイルスの感染拡大予防対策として、また遠方でご来場いただけない方もポコラート世界展をお楽しみいただけるよう充実したオンラインコンテンツを発信します。

オンラインギャラリー | 3DVR

3DVRを用いたバーチャルツアーにより、まるで会場にいるかのような鑑賞体験をお届けします。

3D空間内では、キュレーターの解説ビデオもご覧いただけます。



期間 7月末 - 9月末 (2ヶ月間|予定)

料金 400円 *チケットは鑑賞ページでご購入ください。(クレジットカード・銀行振込・paypal・コンビニ決済可)

鑑賞方法

ポコラート世界展特設サイトにてご鑑賞いただけます。

<https://pocorart.3331.jp/world2021/>

制作会社：株式会社アートログ | ARTLOGUE VR <https://artlogue-vr.com/>

ガイドブック



無料ガイドブック

会期中、ご希望の方には全20ページフルカラーのガイドブックを数量限定で展覧会受付にて無料配布。

お子さまにも大人にも展覧会の内容や作品をわかりやすく解説！ポコラート世界展特設サイトよりPDFでダウンロードできます。

世界22ヵ国、50名の作家による200点を超える創作の数々をフルカラーで掲載した圧巻の図録

独自のリサーチの元、キュレーションした240点余の創作物を展覧会の6つのテーマに沿って掲載する、全288ページの図録です。6つのテーマは「自己の内面」「物と行為の関係」「身近な事象や物のかたちの捉え方」「環境から創作への影響」「世界の成り立ちについての考え方」「過去の記憶」など。

自身を被写体として様々な人物に扮し撮影したポートレートや世界の成り立ちをカレンダーで表現した創作など、国籍、年齢や性別、障害の有無、美術の枠組みさえも飛び越える創作の数々を本書でぜひご堪能ください。本邦初公開となる作品が数多く収録された、貴重な一冊です。

図録



発行/千代田区、アーツ千代田 3331 編/嘉納礼奈
 論考執筆/中村政人、ルシエンヌ・ベリー、保坂健二郎
 バルバラ・シャファアジョヴァー、嘉納礼奈
 ブックデザイン/O design 発行所/アーツ千代田 3331
 価格/1,900円+税 頁数/288頁 判形/242mm×188mm
 言語/日本語・英語 ISBN978-4-9906563-5-5

イベントお申し込み方法	お申込先
<p>上映会+トーク「ミリキタニの猫《特別篇》」と 上映会+トーク「描きたい、が止まらない」の ご参加には、事前のご予約が必要です。</p> <p>お申込みは、Eメールまたは電話、FAXにて承 ります。参加費は当日会場でお支払いください。 (お申込みは先着順、申込締切は各開催日の2日前)</p> <p>Eメール・FAXでお申込の方は、必要事項をご 記入の上、右記の宛先までお申込みください。</p>	<p>アート千代田 3331 ポコラート世界展 イベント担当</p> <p>E-MAIL ws1@3331.jp</p> <p>TEL 03-6803-2441</p> <p>FAX 03-6803-2442</p>
	必要事項
	<p>①ご希望のイベント名・日付</p> <p>②参加人数</p> <p>③参加者全員のお名前とふりがな</p> <p>④申込代表者のお電話番号</p> <p>⑤申込代表者のメールアドレス</p>

開催概要			
展覧会名	<h2 style="margin: 0;">ポコラート世界展 「偶然と、必然と、」</h2> <p style="margin: 0;">— 障害のある人、ない人、アーティストの生の表現を世界に解き放つ —</p>		
会 期	2021年7月16日(金) — 9月5日(日) 会期中無休		
開場時間	11:00~18:00 入場は17:30まで		
会 場	アーツ千代田 3331 1階 メインギャラリー 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 旧練成中学校		
料 金	800円 <p style="font-size: small; margin: 0;">65歳以上は500円。中学生以下・千代田区民は身分証のご提示で無料。 障害者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料。</p>		
主 催	千代田区、アーツ千代田 3331		
協 力	スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団、オーストリア文化フォーラム東京		
特別協賛	中外製薬株式会社	協 賛	三菱地所株式会社
後 援	アメリカ大使館、イタリア文化会館、(一財)日伯経済文化協会(ANBEC)、一般社団法人千代 田区観光協会、カナダ大使館、ゲーテ・インスティトゥート東京、在日スイス大使館、在日フ ランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、スウェーデン大使館、チェコセンター東京、チェコ 共和国大使館、駐日イタリア大使館、駐日キューバ共和国大使館、ドイツ連邦共和国大使館、 ニュージーランド大使館、ブラジル大使館、ブリティッシュ・カウンシル、ベルギー王国 フ ランス語共同体政府国際交流振興庁(WBI)、ベルギー大使館、ポーランド広報文化センター、 モロッコ王国大使館		

特設サイトURL

https://pocorart.3331.jp/world2021/

報道関係者問い合わせ先

ポコラート世界展PR事務局 (株式会社スキュー内)
 担当: 大迫、中田
 〒107-0062
 東京都港区南青山6丁目12-10 ユニティ501号室
 Tel: 03-6450-5457 Fax: 03-5539-4255
 Mail: 3331@skewinc.co.jp

新型コロナウイルス感染症等の影響により、予告なく予定及び展示内容を変更する
 ことがあります。ご来館の前に、ホームページ等でご確認ください。
 また、ご来館に際し、下記対策等にご協力ください。

- ご来館時にはマスクの着用、手指の消毒、スタッフによる
検温、入館票のご記入をお願いします。
- 混雑状況によっては、一時的に入場制限をさせて頂く場合があります。

広報画像

下の画像を広報画像としてご提供いたします。ご希望の方は、ご希望の画像にチェックし必要事項をご記入の上、リリース下部に記載の宛先までメールまたはFAXくださいますよう、お願いいたします。

- 【お願い】
1. 恐れ入りますが、掲載誌一部をご送付いただきますようお願いいたします。
 2. クレジット表記は画像の下にあるものを表記願います。
 3. ご取材の際は事前に担当者までご一報くださいますようお願いいたします。

貴媒体名	
掲載号	発売日/放映日 年 月 日
貴社名	ご担当者様
TEL	FAX
E-MAIL	
資料お届け期限	月 日 まで



ヨーゼフ・ホーファー《無題》2009年
鉛筆、色鉛筆、紙 44×60cm



ユリア・クラウゼ＝ハーダー《Juravenator》2013年
ミクストメディア 51×40×104cm
Foto: Atelier Goldstein



ローラ・デルヴォー《無題》1994年
毛糸、布、聖母マリアの石膏像 66×23×23cm
©collection abcd/Bruno Decharme



イマニュエル・マベウ《無題》2015年
木材、塗料 ©collection abcd/Bruno Decharme



ジョージ・ワイドナー《Megalopolis》2000-2010年
ミクストメディア、紙ナプキン 60.5×98cm
©collection abcd/Bruno Decharme



カルロス・パビエル・ガルシア・ウエルゴ《無題》1990年
フェルトペン、アクリル絵の具、段ボール 72.4×50cm
photo: MIYAJIMA Kei

【報道関係者問い合わせ先】

ポコラート世界展PR事務局（株式会社スキュー内）
〒107-0062 担当：大迫、中田
東京都港区南青山6丁目12-10 ユニティ501号室
Tel：03-6450-5457 Fax：03-5539-4255
Mail：3331@skewinc.co.jp

上記のほか、リリースに使用されている画像のご提供も可能です。
ご希望の方は担当までお問い合わせください。